

個人質問

子どもの豊かな成長を

日本共産党

京増 藤江



教育問題について

問 来年、中学校教科書の採択が予定されている。採択にあたり重視すべきは、「侵略戦争を肯定・美化する歴史教科書問題を解決し、植民地支配と侵略への反省を教科書に反映させているか」など、歴史の真実が書かれている教科書であるかどうかである。

採択にあたり、親、教師の意見をどう尊重するのか伺う。

教育長

民、教職員の意見を尊重するために、本市として、八街市役所を会場として「教科書展示会」を平成23年6月に開催します。その際、アンケート用紙等を用意し、意見を求めます。

問

見、早期解決について伺う。

いじめられている生徒がSOSを出せる方法を講じているのか。

また、いじめが発生したら1日か2日以内に校長先生や担任を含む会議を持ち、具体的事実に基づく解決方法で実施しているか。様子を見るということはないか伺う。

教育長

各学校で、各担任や学年主任、管理職も加わり、組織的にいじめの早期発見と対処に努めています。その他にも、学期ごとに「いじめ調査」等の実施、相談箱を設置し児童・生徒が悩みを打ち明け相談できる対策を取っています。

問

平成21年度は、前年度と比べいじめが約1・6倍増え、学校が対策を取ってはいるが増えたことは問題である。深刻ないじめにどう対応してきたのか伺う。

教育長

先生方も学校を挙げて解決に向け頑張っておりません。私もそうやってまいりました。

問

いじめに苦しんでいる子が、先生に相

談して解決できるのか疑問に思うが如何か。

教育長

わかる授業の展開、自分がされて嫌なことは言わない等、一人一人が学級等に所属意識を持つようにはしてきました。

排水対策について

二区、元稲荷周辺の冠水対策として調整池設置を早急に求めるが如何か。

市長

調整池の整備を視野に入れ、検討したいと思えます。

問

第一幼稚園協の道路の冠水対策について伺う。

市長

今年度中に改善する計画であり、併せて側溝の清掃を実施したいと考えております。



個人質問

集中豪雨対策と農業施策、ハートプラスマークについて問う

公明党

川上 雄次



集中豪雨対策について

問 近年の気候変動の周期、波を考えると、行政として豪雨長雨による冠水、排水対策を充実させて、有事に備える防災対策が必要である。冠水、排水対策として、市内調整池の整備、充実について伺う。

市長

水路の上流側を中心に調整池の用地を確保するなど、努力したいと考えております。

問

計画規模を超える集中豪雨等に備える排水対策について伺う。

市長

国の交付金等を活用し、現在、工事を実施している4カ所も含め、11カ所を計画しているところであり、また、八街市建設業災害対策協力会と災害時の奉仕活動に関する協定書を平成18年10月10日に締結し、台風や集中豪雨等の災害発生時に協力していただくことになっております。

農業施策について

問 農業従事者の高齢化や担い手不足に備え、農業ヘルパー登録制度を創設し、労働力を確保すべきだが考えを伺う。

市長

農家の経営改善と市民との交流を図る上で、農業ヘルパー制度は有効な手段であると考えており、今後検討していきたいと考えます。

問

農政課の中に農地情報バンクを設置し、農地のあつせん、有効活用、就農希望者育成に当たれないか伺う。

市長

農業経営基盤強化促進法の一部が改正され、市町村農業基本構想の中に農地利用集積団体の設置を規定しなければならぬこととされました。今後は、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対する農地の利用集積、これらの農業者の経営管理の合理化等の措置を総合的に講ずることにより、農業の健全な

教育問題について

問 本市で行っている放課後子ども教室の成果と今後の普及策を伺う。

教育長

各小学校区において、地域コーディネーター講座を順次開催し、各地域で子どもたちが安心して生き生きと活動できる放課後子ども教室事業の普及に努めていきたいと考えております。

ハートプラスマーク

問 内部障がい者対策としてハートプラスマークを公共施設の駐車場に明記すべきだが如何か。

市民部長

車いすの方、妊婦さん、内部障がいを持った方が気兼ねなく使用できるように、複合的な表示の看板設置を保健センターに設置をしたいと考えております。